



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

教師の複数校勤務を可能とする教師活動支援システムの基礎的研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村瀬, 康一郎 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/661

現在の学校は、多様な教育課題に対して、在籍する児童生徒数によって決められた数の教員で、余裕のまったくない状態に対応している。さらに教員数の面だけでなく、総合的な学習の展開、学校の情報化や情報教育の推進、学校間交流、スクールカウンセリングといった多様で多岐にわたる教育課題、学校選択制も視野に入れた特色ある学校づくり等のために、多彩な能力・資質をもった教員が求められている。しかしながら、個々の学校が求めるような専門的な能力・技術を持つ教員をすべての学校に配置することは困難であるし、すべての教員にそのような能力・技術を持たせることもむずかしい。平成9年7月の教育職員養成審議会の第一次答申においても、「教師に求められる資質能力」として、昭和62年答申に掲げられた資質能力（教員については、教育者としての使命感、人間の成長・発達についての深い理解、幼児・児童・生徒に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養、そしてこれらを基盤とした実践的指導力が必要である。）はいつの時代にあっても一般的に求められるものとしつつ、以下のような資質能力をあげている。すなわち、変化の激しい時代の中で、子供たちの【生きる力】を育むため、今後特に教員に求められる能力を、

- ① 地球や人類のあり方を自ら考え、幅広い視野を教育活動に積極的に生かす能力
- ② 変化の時代を生きる社会人に必要な資質能力
- ③ 教職に直接関わる多様な資質能力

としているが、すべての教員に一律にこれら多様な資質能力を高度に身につけることを期待することは現実的ではなく、画一的な教員像を避け、生涯にわたり、資質能力の向上を図るという前提にたつて、全教員に共通に求められる基本的な資質能力の確保とともに、教師各人の得意分野づくりや個性の伸長を図るという観点に立つ事が重要としている。

この問題を解決するための一つの方法として、専門的な能力・技術を持つ教員を日常的に複数校の教育活動に係われるようにすることであるが、生身の教師が学校間を飛び回るような態勢での実施では、身体的負担や時間的ロスは計りしれない。したがって、通信ネットワークと教師活動を支援する教育情報システムを活用し、一つの学校に居ながらにして、他の学校の教育活動に係われるようにすることが必要である。

本研究は、この課題を解決するために、通信ネットワーク及び教育情報システムにどのような機能を実装すればよいか、そのための基礎的研究として、教師の日常的教育活動の内容とそれがどのように行なわれているかを調査分析し、ネットワークを用いて実現できる教師機能、教育情報システム上で実現すべき教師機能および教師活動支援機能の開発を行なうための基礎資料とするとともに、システムで実現すべき機能要求分析、ネットワークを用いることによる教師活動の内容や進め方等の変化分析を行ない、システム化の検討を行なうものである。

また、学校で日常的に行なわれている、きわめて人間的な営みと捉えられている教師の活動や機能を工学的手法により調査分析しシステム化するところに特色があり、“教育経営工学”確立に向けての基礎研究とするものである。